



# 食卓の貝がら<sup>ひょうほん</sup>標本 をつくろう！



いしかり  
砂丘の風  
資料館

みそ汁やパスタ、さしみなど、貝を使った料理はいろいろあります。  
もし貝がらが付いていたら、よく観察して、種類を調べてみよう。  
名前がわかったら、学名ラベルをつけて、貝がら標本を作ろう！

## ■標本って？

採集（さいしゅう）した生物や岩石などを、いつまでも保存できるようにしたもの。

その生物や岩石が、本当にそこにあったという証拠（しょうこ）になり、未来の人が勉強したり研究したりできるようにするため。

標本には、必ず「ラベル」をつけて、学名と、いつ、どこで、だれが採集したかを書く。

## ■材料・道具

- ・食後の貝がら
- ・フォトフレームなど
- ・木工用ボンド
- ・台紙・ラベル（もう1枚のPDFをプリント）

## ■作りかた

- ①貝がらに残った身をきれいにとる。
- ②ナベの湯で1分間くらい煮る。  
（あとでくさったり虫がわいたりしないように）  
※湯から出したら、よく冷ます。
- ③形や色、もようから、貝の種類をしらべる  
（PDF「食卓貝殻図鑑」と見くらべて。  
うちに図鑑もあれば見てみよう）
- ④台紙に標本データを書く。
- ⑤台紙に貝がらを接着する。
- ⑥フォトフレームなどに入れる。  
→貝がら標本の完成！



## ■注意！

- ・ボンドは付けすぎない。付けすぎると、かわくのにかかりすぎる。
- ・標本ラベルはきれいな字で、ほかの人も読めるように書く。

## ■もっと知りたいときは…

### ▼本で調べてみよう！

「日本の貝1／巻貝（フィールドベスト図鑑）」  
（奥谷喬司、2006年、学研）

「日本の貝2／二枚貝・陸貝・イカ・タコほか  
（フィールドベスト図鑑）」（奥谷喬司、2006年、学研）

「日本近海産貝類図鑑」（奥谷喬司、2000年、東海大学出版会）※専門家向けだが最強の図鑑！  
「標本の作り方 自然を記録に残そう」（大阪市立自然史博物館、2007年、東海大学出版会）  
※植物や骨など、いろいろな標本の作り方もわかる。

「海と森の標本函『自然の落としもの』を拾いあつめて愛でるたのしみ」（結城伸子、2014年、グラフィック社）※アンティークな標本を作りたい人は、この本で。

### ▼資料館で学芸員に聞こう！

いしかり砂丘の風資料館で、学芸員（自然担当：志賀）に聞いてみよう！ いろんな貝も見せてあげる！

場所：石狩市弁天町30-4（石狩温泉「番屋の湯」そば）

電話／ファックス：0133-62-3711

メール：bunkazaih@city.ishikari.hokkaido.jp

ホームページ：

<http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/museum/>



台にのせてもいいね！